

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構の平成17年度の業務実績に関する評価への意見

※ 独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備の中期計画のうち、「1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質に関する目標を達成するための措置 (4) 大学院大学設置 準備活動」部分のみ。

①評価を通じて得られた法人の今後の課題

18年度においては、17年度の成果等を踏まえ策定した年度計画に沿って、着実に大学院大学の設置準備を進めていくことが求められる。

②法人経営に関する意見

-

③特記事項

-

※ 独立行政法人沖縄科学科学技術研究基盤整備の中期計画のうち、「1 国民に対して提供するサービスその他の業務の質に関する目標を達成するための措置 (4) 大学院大学設置準備活動」部分のみ。

中期計画	年度計画	評価の観点	中期計画・年度計画に対する実績	評価	評価理由等
<p>(4) 大学院大学設置準備活動</p> <p>①大学院大学の教育研究分野・組織体制及び教員の人事制度についての考え方の明確化。</p>	<p>(4) 大学院大学設置準備活動</p> <p>①運営委員会との共同のもと、大学院大学の在り方に関する検討を行うための外部有識者の候補を選定。</p> <p>②運営委員会との共同のもと、今後の研究領域の検討を支援するための科学顧問グループの編成に着手。</p>	<p>・教育研究分野・組織体制及び教員の人事制度の検討状況</p>	<p>・大学院大学の設置準備に向け、リトリート(2～3日間の集中検討会)の実施の提案など、運営委員会において議論が行われた。平成18年度及び19年度において、さらに具体的な取組を行う。</p> <p>・当面、脳科学と数理生物学の二つの分野を重点領域とすることとしたところであり、今後、これらに加えてどういう分野に重点を置いていくかの検討を行うため、科学顧問グループの編成。</p>	B	<p>・年度計画(4)①について、外部グループの設立は行われず、②についても、17年度は重点領域の決定に止まり、18年度にこれらの領域における科学顧問グループを編成する予定であるなど、年度計画は十分には履行されていない。しかしながら、大学院の在り方について運営委員会で検討を実施するとともに、研究分野についても機構内で検討が行われるなど、中期計画に基づく取組が進められ、一定の成果をあげていることは評価できる。</p> <p>・18年度においては、17年度の成果等を踏まえ策定した年度計画に沿って着実に大学院大学の設置準備を進めていくことが求められる。</p>
<p>②大学院大学の学長及び主な役職員の候補者に関する調査の開始(平成19年度～)。</p>	-	-	-	-	-